

講義名称	保育実習指導 I B	担当教員名	小菅 ゆみ
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育実習 (NP) 選択必修	単 位	1
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	CMNP2146

授業のキーワード	生活の場 守秘義務 施設実習
授業の概要	施設実習の目的意義等を理解し、目的意識をもって実習に臨むことを目指し実習に備えます。社会的養護・社会的養護内容を履修済みとし、保育実習 I Bを同時履修しなければなりません。
期待される学習成果 (目標)	1. 初めてとなる施設実習の目的等を理解し、不安を和らげて実習に臨むことができます。 2. 実習後には、自分の課題を明確にすることができます。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	スケジュールの確認 実習の目的・意義	スケジュールの確認をし、実習の目的・意義を学びます。
2	実習の流れ等	オリエンテーションをはじめとする手続きを確認します。
3	施設で働く保育者の役割	馴染みの少ない施設保育士について学びます。
4	日誌の書き方① 施設 調べ①	日誌の書き方を学びます。各自で調べた自分の実習施設についてグループで学びを深めます。
5	日誌の書き方② 施設 調べ②	日誌の書き方を学びます。各自で調べた自分の実習施設についてグループで学びを深めます。
6	ゲストスピーカー	現場で働く職員から心構え等お話ししていただく予定です。
7	実習生の立場と心構え・守秘義務	これまでの実習を振り返りながら実習生としての心構えやマナー、守秘義務等について確認します。
8	宿泊を伴う実習の留意点	宿泊実習に備えます。
9	幼稚園実習から学んだこと	幼稚園実習での反省を踏まえ、施設実習への課題を明確にします。
10	実習直前確認指導	実習を直前にし、思いを共有しあい、留意点を確認しあいます。
11	ふりかえりと礼状の書き方	実習をふりかえり、みんなで共有します。礼状の書き方を確認します。
12	課題の明確化と報告書作成	今後の学びに活かすため、自分の課題を明確にします。報告書を作成します。
13	報告会に備えて	報告会に備え、担当・役割分担、流れ等を決めます。
14	報告会	1年生も参加した実習報告会をします。
15	報告会	1年生も参加した実習報告会をします。

定期試験	予定していません。
授業時間外学習	自分の実習先について積極的に下調べをするほか、ボランティアを行い、施設に対する理解を体験的に深めていきましょう。
評価方法	授業態度・貢献度、事前・事後面談、提出物から総合的に判断します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	岡本幹彦 神戸賢次 喜多一憲 児玉俊郎編集 『福祉施設実習ハンドブック』 みらい
参考文献	久富陽子編著 学びつづける保育者をめざす実習の本 保育所 施設 幼稚園 萌文書林